



## 令和2年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

令和元年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 日本ゼオン株式会社

コード番号 4205 URL <http://www.zeon.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 田中公章

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 (氏名) 松浦一慶 TEL 03-3216-2747

四半期報告書提出予定日 令和元年8月8日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無: 有

四半期決算説明会開催の有無: 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

### 1. 令和2年3月期第1四半期の連結業績(平成31年4月1日～令和元年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2年3月期第1四半期	82,418	△1.5	8,325	△1.6	8,664	△10.3	6,065	△8.8
31年3月期第1四半期	83,672	1.1	8,456	△13.0	9,658	△10.6	6,653	△5.0

(注) 包括利益 2年3月期第1四半期 4,295百万円 (202.0%) 31年3月期第1四半期 1,422百万円 (△81.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2年3月期第1四半期	27.76	27.72
31年3月期第1四半期	29.97	29.93

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2年3月期第1四半期	412,551	261,279	62.6
31年3月期	424,937	259,156	60.3

(参考) 自己資本 2年3月期第1四半期 258,170百万円 31年3月期 256,167百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
31年3月期	ー	9.00	ー	10.00	19.00
2年3月期	ー	ー	ー	ー	ー
2年3月期(予想)	ー	10.00	ー	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

### 3. 令和2年3月期の連結業績予想(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	160,000	△5.3	14,500	△19.4	15,500	△23.5	11,000	△24.4	50.34
通期	330,000	△2.2	30,000	△9.5	32,000	△11.9	22,000	19.2	100.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2年3月期1Q	237,075,556株	31年3月期	237,075,556株
② 期末自己株式数	2年3月期1Q	18,577,212株	31年3月期	18,577,060株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2年3月期1Q	218,498,401株	31年3月期1Q	222,020,920株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法について)

当社は令和元年7月31日(水)に証券アナリスト・機関投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会の資料については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間を振り返りますと、米国政権の通商政策に端を発した貿易摩擦の激化など世界経済をめぐる懸念はなお拭えず、当社グループを取り巻く環境としては先行き不透明な状況で推移しました。

当社グループはこのような環境のもとで、引き続き「ZΣ運動」による徹底したコスト削減に努めるとともに、エラストマー素材事業におきましては採算性の重視と生産・販売のグローバル展開、高機能材料事業におきましては付加価値の高い新製品の開発と事業拡大に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は824億18百万円となり、前年同期に比べて12億54百万円の減収となりました。また、営業利益は83億25百万円と前年同期に比べて1億31百万円の減益、経常利益は86億64百万円と前年同期に比べて9億94百万円の減益、親会社株主に帰属する四半期純利益は60億65百万円と前年同期に比べて5億88百万円の減益となりました。

セグメント別の業績は、次の通りであります。

#### (エラストマー素材事業部門)

合成ゴム関連では、国内販売・輸出・海外子会社ともに、世界経済減速の影響を受け自動車産業向けを含む一般工業用品向けの需要が弱く、売上高は前年同期を下回りました。また原料価格変動の影響を受け、営業利益は前年同期を下回りました。

合成ラテックス関連では、国内樹脂改質用ラテックスが堅調であったことなどから、全体の売上高、営業利益ともに前年同期を上回りました。

化成品関連では、主力の水島工場で定期検査を実施したため生産量見合いの出荷量となり、全体の売上高は前年同期を下回りましたが、原料価格の下落、コスト削減等により、営業利益は前年同期を上回りました。

以上の結果、エラストマー素材事業部門全体の売上高は、前年同期に比べて38億43百万円減少し470億85百万円、営業利益は前年同期に比べて16億20百万円減少し35億4百万円となりました。

#### (高機能材料事業部門)

高機能樹脂関連では、光学樹脂、光学フィルムともに販売が堅調に推移しました。この結果、高機能樹脂関連は売上高、営業利益ともに前年同期を上回りました。

高機能ケミカル関連では、化学品が水島工場の定期検査実施に伴い販売量を調整した影響で、売上高、営業利益ともに前年同期を下回りましたが、電子材料、トナーおよび電池材料の販売が堅調に推移した結果、高機能ケミカル関連全体の売上高、営業利益はともに前年同期を上回りました。

以上の結果、高機能材料事業部門全体の売上高は、前年同期に比べて27億36百万円増加し222億59百万円、営業利益は前年同期に比べて16億60百万円増加し50億58百万円となりました。

#### (その他の事業部門)

その他の事業においては、子会社の商事部門等の売上高が前年同期を下回りました。

以上の結果、その他の事業部門全体の売上高は、前年同期に比べて2億58百万円減少し135億79百万円、営業利益は前年同期に比べて2億53百万円減少し3億90百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べて123億86百万円減少し4,125億51百万円となりました。前連結会計年度末との差の主な要因は、未収入金の減少等によるものであります。

#### (負債)

当四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて145億9百万円減少し1,512億72百万円となりました。前連結会計年度末との差の主な要因は、仕入債務の減少等によるものであります。

#### (純資産)

当四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて21億23百万円増加し2,612億79百万円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年4月26日に公表しました業績予想の見直しは行っておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成31年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (令和元年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	37,534	37,339
受取手形及び売掛金	74,823	72,695
電子記録債権	3,529	3,153
商品及び製品	52,494	49,774
仕掛品	3,832	3,570
原材料及び貯蔵品	14,799	15,133
未収入金	35,675	25,510
その他	4,631	7,639
貸倒引当金	△80	△83
流動資産合計	227,238	214,731
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	39,354	39,429
機械装置及び運搬具(純額)	33,334	31,924
土地	18,255	18,262
建設仮勘定	8,323	11,412
その他(純額)	3,057	4,397
有形固定資産合計	102,323	105,424
無形固定資産		
その他	3,197	3,068
無形固定資産合計	3,197	3,068
投資その他の資産		
投資有価証券	81,103	78,326
繰延税金資産	801	779
その他	10,505	10,467
貸倒引当金	△229	△244
投資その他の資産合計	92,179	89,328
固定資産合計	197,700	197,820
資産合計	424,937	412,551

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成31年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (令和元年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	78,862	67,302
電子記録債務	3,552	3,413
短期借入金	12,125	12,125
未払法人税等	6,894	2,268
賞与引当金	2,216	314
修繕引当金	4,013	4,687
その他の引当金	46	36
その他	22,331	24,662
流動負債合計	130,039	114,807
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	2,000	2,000
繰延税金負債	5,107	4,221
退職給付に係る負債	12,373	12,401
その他の引当金	771	1,154
その他	5,491	6,688
固定負債合計	35,742	36,465
負債合計	165,781	151,272
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	24,211	24,211
資本剰余金	19,240	19,240
利益剰余金	204,767	208,648
自己株式	△17,238	△17,238
株主資本合計	230,981	234,861
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	24,117	22,034
繰延ヘッジ損益	△0	△1
為替換算調整勘定	2,629	2,811
退職給付に係る調整累計額	△1,560	△1,535
その他の包括利益累計額合計	25,187	23,309
新株予約権	296	309
非支配株主持分	2,693	2,800
純資産合計	259,156	261,279
負債純資産合計	424,937	412,551

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成31年4月1日 至令和元年6月30日)
売上高	83,672	82,418
売上原価	59,674	58,499
売上総利益	23,997	23,919
販売費及び一般管理費	15,541	15,594
営業利益	8,456	8,325
営業外収益		
受取利息	32	53
受取配当金	745	760
為替差益	378	—
持分法による投資利益	66	50
雑収入	168	122
営業外収益合計	1,390	985
営業外費用		
支払利息	62	34
為替差損	—	465
雑損失	126	146
営業外費用合計	187	645
経常利益	9,658	8,664
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産処分損	172	106
その他	16	23
特別損失合計	188	130
税金等調整前四半期純利益	9,470	8,535
法人税等	2,732	2,406
四半期純利益	6,738	6,129
非支配株主に帰属する四半期純利益	84	63
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,653	6,065

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成31年4月1日 至 令和元年6月30日)
四半期純利益	6,738	6,129
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,131	△2,083
繰延ヘッジ損益	2	△1
為替換算調整勘定	△2,264	180
退職給付に係る調整額	109	25
持分法適用会社に対する持分相当額	△32	46
その他の包括利益合計	△5,316	△1,834
四半期包括利益	1,422	4,295
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,397	4,188
非支配株主に係る四半期包括利益	25	107



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(原価差異の繰延処理)

季節的に変動する操業度等により発生した原価差異は、原価計算期間末までにほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産(その他)および流動負債(その他)として繰り延べております。

(セグメント情報等)

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	エラストマー 素材事業	高機能材料 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	50,398	19,522	69,921	13,751	83,672	—	83,672
セグメント間の内部売上高又は振替高	530	—	530	86	616	△616	—
計	50,928	19,522	70,451	13,837	84,287	△616	83,672
セグメント利益	5,123	3,398	8,521	643	9,164	△708	8,456

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、R I M配合液、塗料等の販売等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△708百万円は、セグメント間取引消去8百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△716百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成31年4月1日 至令和元年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	エラストマー 素材事業	高機能材料 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	46,626	22,259	68,884	13,534	82,418	—	82,418
セグメント間の内部売上高又は振替高	459	—	459	45	504	△504	—
計	47,085	22,259	69,343	13,579	82,922	△504	82,418
セグメント利益	3,504	5,058	8,561	390	8,951	△626	8,325

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、R I M配合液、塗料等の販売等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△626百万円は、セグメント間取引消去12百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△638百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。